

9期28年の経験で、「安心できる地方と日本」を創っていきます。

今を守る。



乗り越えるべき課題 いま我が国が乗り越えなければならない課題が多くあります。その根底には現役世代の減少という人口構造の変化があります。この課題に正面から向き合い、多くの皆様のご意見を伺いながら、さまざまな具体策を講じて乗り越えていく決意です。

今こそ、格段の防災対策

能登半島で被災された皆様には、全力で支援し一刻も早い復興を目指します。支援にかけつけた多くのボランティアの力と想いを、防災力に生かさなくてはなりません。地震、台風、ゲリラ豪雨など発生は避けられませんが、被害が軽減するよう、現場の要望を聞き、技術開発を進め、具体的な対策を講じていきます。

新技術で「地方を守る」

東京一極集中が見直されています。スマート技術の活用で農林水産業の振興や地域経済の活性化による雇用の創出などローカル・イノベーションを推進します。例えば、次世代インターネット技術は地域間の情報格差をなくし、地方への企業進出の可能性もあります。デジタルと地方創生の組み合わせを活かし、地方を守る方法の具体化を進めます。

未来を拓く。

誰もが活躍できる社会実現に向けて

自らの政治家としてのテーマである「誰もが活躍できる社会」の実現をめざします。幸せを実感できない子ども達、ご高齢の皆さん、障がいを持った方々、様々な生きづらさを抱える人々すべてが、新しい医療技術、ロボティクス技術の支援を活かしながら、生き生きと暮らせる社会を構築します。

課題解決のための新しい技術で強い日本を

新しい技術 AI、ロボティクス、自動運転、量子技術、DXなど人を代替するテクノロジーは日進月歩進化しています。これらを徹底利用し社会を維持し労働生産性を引き上げ、人口が減少しても成長できる国、未来に希望の持てる強い日本を、皆様とともに創っていきます。

子育てを、後押しする社会づくり

少子化の克服が、日本社会の根本課題です。子育てをいかに社会がサポートできるかが問われています。働き方の見直しも含め、様々な方法や制度からサポートする度合いをさらに高めます。



自民党

田村のりひさ

59歳

プロフィール

昭和39年松阪市生まれ
平成8年10月衆議院議員初当選以来9期当選。
【現職を含む経歴】
厚生労働大臣／働き方改革担当大臣／総務副大臣／厚生労働大臣政務官／文部科学大臣政務官／自民党政務調査会会長代行／自民党三重県支部連合会会長／裁判官訴訟委員会委員長／情報監視審査会会長

自民党政治を変えよう 希望ある政治に

9条を生かして平和を

● 気候危機打開に取り組みます

● 「戦争国家」づくりを止め

● ジェンダー平等の社会に

● 選択的夫婦別姓制度の実現を

● 男女の賃金格差をなくす

● 奨学金は給付制中心、貸与奨学金の返済は半額

● 学校給食費を無償に

● 高校卒業までの子供医療費無料化を国の制度に

● 学生が負担を心配することなく、安心して学べるように

● 高等教育予算を抜本的に増額して

● 高専教育予算を抜本的に増額して

● 奨学金は給付制中心、貸与奨学金の返済は半額

● 学校給食費を無償に

● 高校卒業までの子供医療費無料化を国の制度に

● 学生が負担を心配することなく、安心して学べるように

● 高等教育予算を抜本的に増額して

● 高専教育予算を抜本的に増額して

● 奨学金は給付制中心、貸与奨学金の返済は半額

● 学校給食費を無償に

● 高校卒業までの子供医療費無料化を国の制度に

● 学生が負担を心配することなく、安心して学べるように

● 高等教育予算を抜本的に増額して

● 高専教育予算を抜本的に増額して

● 奨学金は給付制中心、貸与奨学金の返済は半額

● 学校給食費を無償に

● 高校卒業までの子供医療費無料化を国の制度に

● 学生が負担を心配することなく、安心して学べるように

● 高等教育予算を抜本的に増額して

● 高専教育予算を抜本的に増額して

● 奨学金は給付制中心、貸与奨学金の返済は半額

● 学校給食費を無償に

● 高校卒業までの子供医療費無料化を国の制度に

裏金ノーの思いを・・・比例は日本共産党へ

比例区は立憲民主党 だれもが笑顔で暮らせる社会へ

“不安”を減らし“笑顔”を増やすために、福森和歌子は、4つの約束で頑張ります。

ジェンダー平等

男性中心型の労働慣行や、男女間賃金格差を是正します。
選択的夫婦別姓制度を早期に実現します。
困難に直面する女性を総合的に支援する法制度の整備に取り組みます。
固定的な性別役割分担を前提とした税制や社会保障制度を見直します。

福祉の充実

様々な困難をかかえる子どもたちの生活・発達・自立を支援する施設や、障がい児への在宅サービスなど、児童福祉の拡充に努めます。子どもの貧困率を改善し、医療や食事、進学や就職などで不利にならないようにします。
障がいのある人や単身世帯などの社会的孤立・孤独への対策や、ひきこもりや不登校に悩む方の居場所の確保、就学・就労支援、家族支援を強化します。
地域ごとの介護課題に対応し、高齢者が今住んでいる場所で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組みます。
介護職員の処遇改善、教育訓練給付金制度等の充実に努め、介護職の方が働きやすい環境をつくります。

働きやすい環境づくり

すべての労働者への社会保険適用、雇用形態によらない公平な能力開発、育児・介護と仕事の両立を支援する職場環境を実現します。
非正規雇用の正規化、同一価値労働同一賃金の実現、個人事業主・フリーランス等の保護に努めます。

地方の経済を元気に

東京一極集中の是正、官民の地方拠点強化を促進します。
グリーン(環境・エネルギー分野)、ライフ(医療・介護分野)、ローカル(農林水産業・観光分野)の三つの軸で、地域のニーズに応じた地場産業を育て、地産地消を促進、地域経済を活性化します。時限的な消費税・ガソリン税の減税実施や、最低賃金のさらなる引き上げなどで可処分所得を増やし、消費を喚起します。

Profile

1970年1月 伊賀市に生まれる
1982年3月 津市立西が丘小学校卒業
1985年3月 私立高田中学校卒業
1988年3月 私立高田高等学校卒業
1992年3月 早稲田大学商学部卒業
1994年3月 早稲田大学大学院 商学研究科商学専攻 修士課程修了
1994年4月～2020年12月 株式会社電通勤務 出版ビジネス・プロデュース局 営業部長
2021年1月 マーケティング・コンサルタントとして独立
2022年4月 社会福祉士資格取得



立憲民主党公認
衆議院三重県第1区候補

福森和歌子



第50回衆議院議員総選挙 第26回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は10月27日(日)

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】 10月26日(土)まで

※投票日当日に投票できない方は、期日前投票制度の積極的なご利用をお願いします。

「日本の、あしたを想う。その気持ちを、一票に。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※障がいなどで自書することができない方には係員が代筆する「代理投票」、視覚に障がいのある方には「点字投票」の制度があります。希望される方は、投票所で係員にお申し出ください。

※選挙公報は、音訳版・点訳版も作成しています。必要な方は、県選挙管理委員会又は市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所へは、介護をする方等と一緒に入ることができます。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は、投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

選挙管理委員会連絡先一覧

